



月刊 ウポポイ

白老町ウポポイから
季節の便りを毎月お届け。

11
[2024]
No.16

冬のアイヌ文化を感じる「ホワイトシーズン」が今月からスタート。
月末からはチキサニ広場にイルミネーションも登場。写真映え間違いなし！

11月の営業 **開園時間** 9:00～17:00(最終入場 16:00) **休園日** 5(火)、11(月)、18(月)、25(月)

☆ 11 / 3 (日・祝) は無料開放日 ☆ 町外のお知り合いの方と一緒にご利用ください！

ウポポイスタッフのひとこと ※文章の最後に「ひとこと」をくれたスタッフの《ボンレ(アイヌ語のニックネーム)》を書いています

アヌコロ アイヌ イコロマケル 国立アイヌ民族博物館	ヤイハノツカラ チセ 体験学習館	ウエカリ チセ 体験交流ホール	イカラ ウシ 工房
特別展示「驚異と怪異—想像界の生きものたち」を開催中。関連イベントなども開催しています。ぜひお越しください。《展示担当一同より》	楽器プログラムは伝統的コタンや工房で実施することになりました。料理体験は引き続き体験学習館で行います。《ノカマトクより》	伝統芸能上演「イメル」では、阿寒の伝承者から教えていただいた1人で踊るエムシリムセ(刀の踊り)を披露しています。《パンチョより》	11/3(日)の無料開放日は木彫、刺繍体験をたくさんのお客様に体験して頂けるようご用意してお待ちしております。《サントミより》
テエタ カネ アン コタン 伝統的コタン	ウアイヌコロ ミンタラ 国立民族共生公園	編集部《ポロナイより》	 通称：「ゴ」ちゃん 動物形土製品「国指定重要文化財」／千歳市教育委員会蔵
コタンの冬が近づいています。囲炉裏はぽかぽか温かいです。チセでのプログラムをお楽しみください。《メトットより》	エント茶に使うナギナタコウジュは大きく成長し、ウポポイでも間もなく刈り取りの時期を迎えます。《ニトウレンより》	【11/3(日)に無料なもの】 ・ウポポイ入場料 ・特別展示観覧料 【白老町民だけ無料なもの】 ・駐車場料金	

今月のイベント ※変更の場合がございます。最新情報はHPをご確認ください

週末	・基本展示室ギャラリートーク(詳細は博物館 HP を確認)
2(土)	・人形劇「ふんだりけったり熊神様」 ☆ウポポイ無料開放日☆
3(日)	・第9回特別展示「驚異と怪異—想像界の生きものたち」 ギャラリートーク第2回・第3回
9(土)	・伝統芸能上演「イノミ」
～10(日)	・伝統ト革新展 #3 阿寒湖のフチ・エカシ展
16(土)	・クイズに挑戦！アイヌ語の特徴を探ろう
17(日)	・第9回特別展示「驚異と怪異—想像界の生きものたち」最終日 ギャラリートーク第4回
23(土)～	・ウポポイイルミネーションスタート
23(土)	・アイヌ文様の入ったバッグを作ろう！
～24(日)	・様似民族文化保存会舞踊等披露 ・秋のコタンノミ(※閉園日のため非公開)
25(月)	ウポポイの中で大きなイベントのひとつ。ポロトコタン(旧アイヌ民族博物館)の時代から受け継がれる酒づくりや儀礼、先祖供養をウポポイスタッフたちが行います。

◆ウポポイのアイヌ語◆

シモイエニカラ
simoye nikar
▲「モ」にアクセント

エスカレーター
(自動はしご、自動階段)

※新表現
(シモイエ「自動(シ:自分、モイエ:～を動かす)」、ニカラ「はしご」)

ウポポイでは、アイヌ語を第一言語とし、既存のアイヌ語にはない言葉をアイヌ語で表現する取組を行っています。「ニカラ」ははしごのことで、自動を表す新語「シモイエ」をつけた「シモイエニカラ(自動はしご)」をエスカレーターの新語としました。白老町で唯一(?)と話題になったエスカレーターが博物館にあります。

※アイヌ語には地域によって方言差があります。

お問合せ

(公財)アイヌ民族文化財団 民族共生象徴空間運営本部
☎0144-82-3914